第３回　学校運営協議会

日時：令和８年 10 月 17 日（土）
13：30～15：30
場所：亀玉小学校　会議室

学校教育目標「自ら考え　みがき合う子」

学校経営目標「なりたい自分・よりよい学校地域を思い描き、
主体的に考える力を育てる学びの深化」

1　はじめの言葉（教頭）　　13：30

2　会長挨拶（会長）

3　校長挨拶（校長）

4　第２回会議録の確認（会長）

5　協議
（１）議長の選出（会長）

（２）熟議　　司会：議長
①第１回学校評価について（教務）　　13：43～

②チェンジステージの取組について報告（各実践部長）と報告に関する御意見　14：00～

③令和９年度の教育課程に向けて　14：20～15：25

１）協議

ア　グループ協議　14：20～15：00

○「やさしい子部」「かしこい子部」「たくましい子部」の３グループの話し合いに、委員の方に入っていただき意見交換を行う

※ＳＷＯＴによる環境分析

イ　全体発表　　15：00～15：15

２）感想　　15：15～15：25（委員）

やさしい子部

司会：八重子　記録・報告：原田　星野、丸、森島、大桑

太田会長、山関委員、郁山委員、森田オブザーバー

かしこい子部

司会：耕介　記録・報告：伊藤　小林、奥出、やよい

鈴木（一）委員、鈴木（隆）委員、椛オブザーバー

たくましい子部

司会：佐藤　記録・報告：平松　果穂、松原、寿美英

伊藤委員、吉田委員、北野谷オブザーバー

６　その他

７　連絡事項　15：25～15：30

（１）第４回学校運営協議会（２／16（火））について（教頭）

（２）その他

令和８年度　麁玉小学校　学校運営協議会委員

１　委員等

No.	氏名	役職	所属	任期
1	太田富次郎	委員	宮口まちおこしの会会長	R8.4.1～R11.3.31
2	鈴木　一誠	委員	元自治会連合会会長	R8.4.1～R11.3.31
3	伊藤　誠一	委員	元学校評議員	R8.4.1～R11.3.31
4	山関ひで子	委員	元大学教員	R8.4.1～R11.3.31
5	鈴木　隆広	委員	ＰＴＡ会長	R8.4.1～R11.3.31
6	吉田さやか	委員	ＰＴＡ副会長	R8.4.1～R11.3.31
7	郁山明日香	委員	学校支援コーディネーター	R8.4.1～R11.3.31

２　学校支援コーディネーター

No.	氏名
1	町田　和代

３　オブザーバー

No.	氏名	所属
1	椛　通安	麁玉協働センター職員
2	北野谷富子	Ｒ７　ＰＴＡ会長
3	森田　智佳	主任児童委員

４　事務局

No.	氏名	役職	連絡先
1	竹田　良子	校長	電話：589-8313 FAX　：589-8314
2	吉川　利行	教頭	
3	髙林　圭吾	教務 ＣＳ担当	
4	村瀬美惠子	CSﾃﾞｨﾚｸﾀｰ	

令和８年度　第２回　麁玉小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和８年６月９日（火）　13 時 30 分から 15 時 30 分まで
２　開催場所　　麁玉小学校　会議室
３　出席委員　　太田富次郎、鈴木一誠、伊藤誠一、山関ひで子、鈴木隆広
　　吉田さやか、郁山明日香（学校支援コーディネーター）
４　欠席委員　　なし
５　オブザーバー　椛　通安（麁玉協働センター職員）、森田智佳（主任児童委員）
６　学校支援コーディネーター　町田和代
７　学　　校　　竹田良子（校長）、吉川利行（教頭）、髙林圭吾（教務・CS 担当）、
　　村瀬美恵子（CS ディレクター）
８　教育委員会　　磯部、林（地域推進課）
９　傍 聴 者　　なし
10　会議録作成者　村瀬美恵子（CS ディレクター）
11　協議事項
　（１）授業参観から
　（２）スタートステージの検証と今後の取組
　（３）児童の様子の報告と、今後の地域との連携についての検討

12　会議記録
　本会は、委員７名のうち７名の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。
　太田会長からは委員全員で盛り上げて活動を充実させていこう、竹田校長からは校長室での児童委員会との話し合いや命を考える朝会から子供のいい状態を実感し、更に地域・子供・職員の力をバージョンアップしたいとの挨拶があった。
　議長は、名簿の順番で、太田会長が伊藤誠一委員を指名した。
　議長の指示により、太田会長が前回会議録を読み上げた。委員全員で確認し、異議なく承認された。
（１）授業参観について
〇委員から授業について、下記の感想と御意見をいただいた。
・落ち着いてきた６年生。スキンシップがいい。　（鈴木委員）
・先生の顔を見て学ぶ姿、自習時に自分で勉強している姿に感心した。　（吉田委員）
・午後の時間でも落ち着いており、タブレットの活用、自分から勉強している姿が良かった。（郁山・町田委員）
・授業の準備が出来ていた。タブレットの視力への影響を心配。「ふわふわ言葉の木」「一緒にやろう」がいい言葉。励まされ、やる気や仲間意識が育つと思う（森田ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ）
・タブレットの扱い方を知りたい。読み聞かせで子供が静かに落ち着いている。「ふわふわ言葉の木」の掲示（子供が自分で貼る）がいい。　（山関委員）
・見守り時の挨拶には感心。成長の姿に頼もしさを感じている。　（鈴木一誠副会長）
・午後の保健室に子供がいない事に感心した。　（太田会長）
・子供達が動揺せず落ち着いている姿に、行き届いた指導と努力に感謝する。（伊藤委員）
〇高林教務がタブレットの扱い方について、現状を説明した。
・タブレットは毎日持ち帰り、家庭学習の選択肢を広げる学びを期待している。
・タブレットへの一週間の予定のまとめ配信により、子供に朝のゆとりが出来た。

・バッテリーの充電は持ち帰った時家庭でするが、長期休業中は学校で保管し充電する。
・タブレットの重さへの対応は、1年生は9月からとし、荷物への付加を減らす。

（２）スタートステージの検証と評価、今後の取組について

①報告を高林教務がした。

・ステージ制ロードマップ（3部）を作成し、児童と職員が共有する。
・スタートステージは、90%の肯定的な評価と受け止めがされた。

〇たくましい子部

・下校時のトラブルがあった。通学班会でルールの確認をする。

〇かしこい子部

・よい姿勢の確認を、全校児童で「椅子をひく・声掛け・机上の置き方」を共有する。
・始業前の準備と机上の整理に課題がある。
・タブレットの持ち帰りの意味を再確認する。

〇やさしい子部

・挨拶が場や人が変わると返ってこないので、挨拶動画の作成で意識を高めていく。
・ふわふわ言葉の見える化に向けて学年掲示をする。

②今後の取組に対する御意見を下記の通りいただいた。

〇グランドデザインの実現に向け、協力していただけそうな人材・資源、等
〇グランドデザインの実現に向け、学校運営協議会自身が出来そうな支援、等
・宮口の祭り（屋台9台）には、歴史・運営・管理とメンテナンス・困り感、そして六所神社とは何かや歴史を宮司に説明してもらうのはどうか。　（伊藤委員）
・屋台のお囃子の違いと祭りを学年毎に学ぶ。親の職業の紹介はどうか。（吉田委員）
・高林教務から、3年生の地域の自慢「宮口祭り」で屋台見学と、話を聞いて学んだ。児童の感想は「よけいに好きになった」だった。9台の屋台に視野を広げたい。

等の御意見をいただいた。

（３）児童の様子の報告と今後の地域との連携についての検討

〇児童の様子の報告と学習ボランティアの要望について、学年主任が報告をした。

1年（佐藤）給食・下校時のボランティアの協力により落ち着いた生活が出来た。
今後、水泳指導、お手玉やけん玉等の遊びに協力を得たい。

2年（小林）元気に毎日登校し、落ち着いて生活出来るように協力を得たい。
町探検・浜北図書館への電車上下車・夏野菜の調理等のお願いをしたい。

3年（原田）町探検で野口と譲栄に、万葉講座で現地に行きたい計画がある。

4年（奥出）自分達で考えて行動することに苦手意識をもっている子がいる。
水泳運動・防災教育・福祉の学習への協力を得たい。

5年（中村）委員会活動・スポフェスで成長を自覚した子供が多かった。
ミシンの授業・花の舞やバードピア見学・林間学校ポイントハイクの運営手伝いを希望する。

6年（鈴木）1年生を迎える会・スポフェス等で、子供達は成長している。
総合でお話に来てほしい。家庭科ミシンの協力を得たい。

わかば・なかよし学級（鈴木）個別対応の学習。スポフェスは学級で活動できた。
買い物学習で協力をお願いしたい。

〇意見交換をした。

・吉川教頭から、子供達は受け身の傾向、主体性を育てたいので地域の方に加わってもらい、生き方・体験的学習（祭り等）から子供たちの視野を広げられる支援をお願

いしたい。
・帰宅時間が遅くなっていないか。犬を見に立ち寄る子供がいる。　（伊藤委員）
・防災教育は地元の人が学校に来てもらえる。　（鈴木誠一副会長）
・街おこしの会員に宮口の歴史・古墳の話をしてもらったらどうか。　（太田会長）
・地元にある古墳・土器（文化財産）等の宝を、子供に知らせたい。　（山関委員）
・自宅の畑から勾玉が出た話がある。　（伊藤委員）

〇通学路の変更について、竹田校長から説明があった。

児童の登下校の際、保護者の送迎の車、中学生の自転車通行と重なり、児童の安全確保出来ない現状がある。このことから通学路の変更を行いたい。この会での承認後、児童と保護者へ説明して、15 日からこの通学路を歩くようにしたい。

委員からは異議もなく、通学路の変更は承認された。

13　連絡事項

（１）次回の学校運営協議会は１０月１７日（土）を予定し、議長は名簿順で山関委員が依頼された。

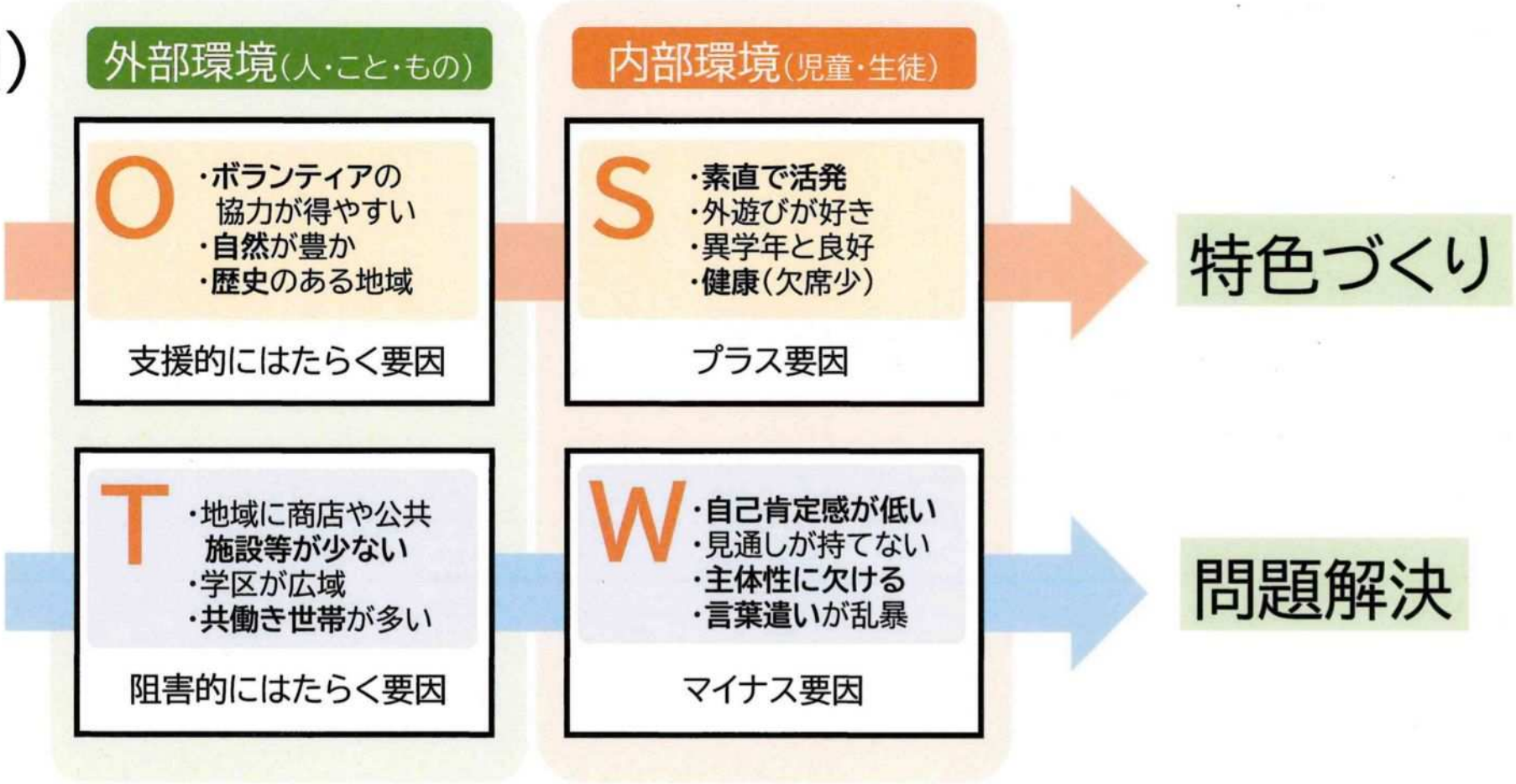
〇　学校・地域推進課の磯部さんからお話をいただいた。

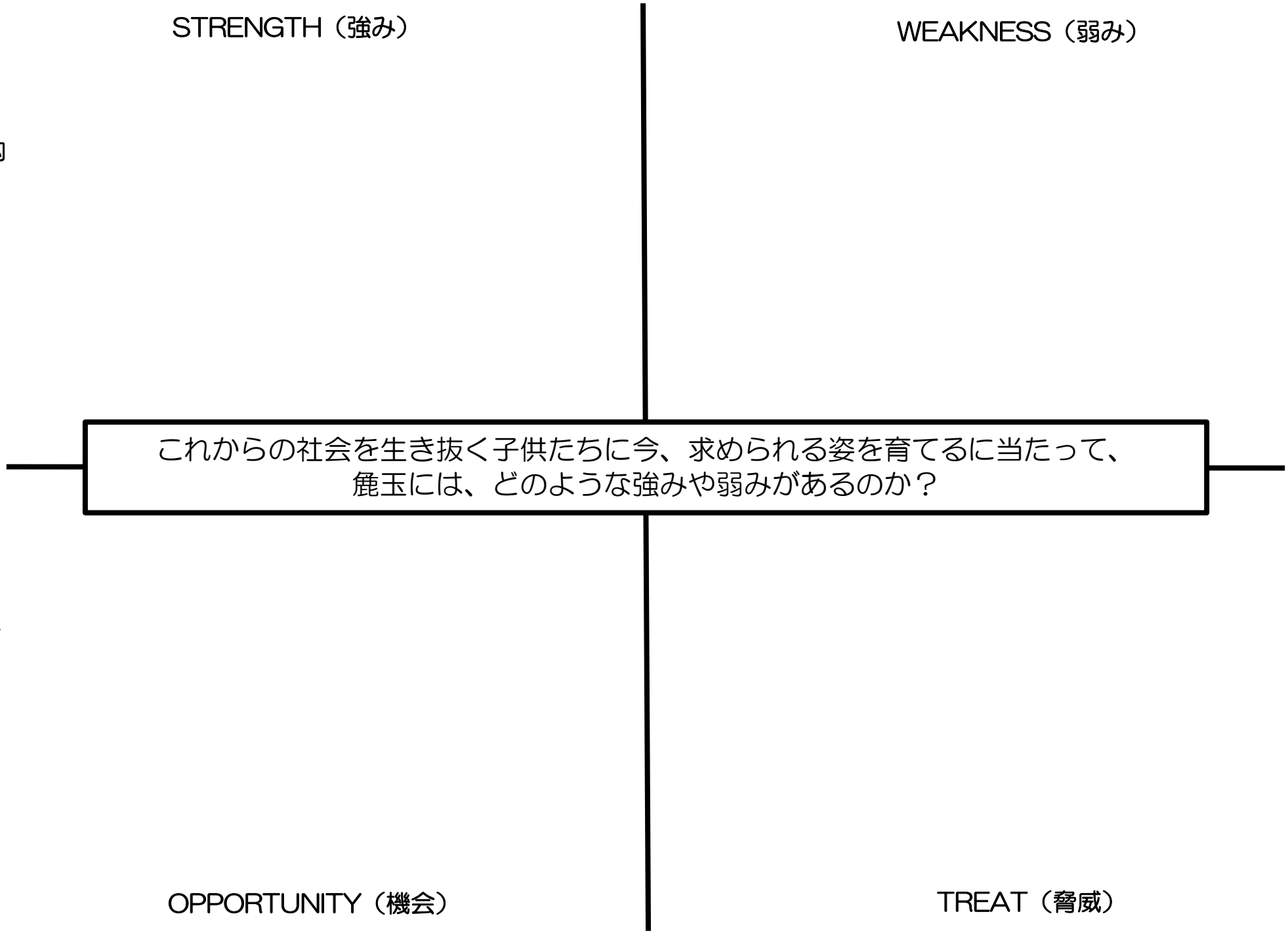
特色ある学校づくりに向けた地域との連携と協力態勢を伺うことができた。特に宮口の歴史と文化「祭り」を切り口にした学習を進めていくとは、効果的だと感じた。

資料 P12 の「今後の地域との連携について」について、「目的」と「子供の姿」の項目を加えた方が、よりグランドデザインにマッチした実践になると考える。

学校内外の環境分析手法「SWOT分析」

（例）




STRENGTH（強み）
WEAKNESS（弱み）
境環部内
これからの社会を生き抜く子供たちに今、求められる姿を育てるに当たって、
麓玉には、どのような強みや弱みがあるのか？
境環部外
OPPORTUNITY（機会）
TREAT（脅威）

学校運営協議会自己評価実施要項

浜松市教育委員会

1　趣旨

この要項は、浜松市学校運営協議会規則（令和元年　浜松市教育委員会規則第２号）第８条に規定する学校運営協議会（以下「協議会」という。）の自己評価の実施について必要な事項を定める。

2　評価の目的

各協議会が、自らの取組について、その取組内容や達成状況等について自己評価し、改善につなげることにより、保護者、地域住民等の対象学校の運営への参加を促進し、当該運営の改善及び児童生徒の教育活動の充実を図る。

3　評価の実施

協議会は、以下の評価項目について自ら評価を行う。

＜評価項目＞

（必須）　※全ての協議会で行う。

1　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

2　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

3　協議会の結果について、十分な情報発信を行ったか。

4　今年度の評価を踏まえた来年度の目標

（参考）　※各協議会で追加する項目があれば設定する。

4　自己評価の結果の報告書の作成

協議会は、自己評価結果を様式１により、簡潔にとりまとめる。

5　評価結果の公表

協議会は、自己評価の結果について、ＣＳ便り、学校のホームページ、連絡アプリ等を活用し、広く保護者や地域住民等に公表するよう努める。

6　評価結果の報告と改善支援

(1) 教育委員会への報告

協議会は、様式１を当該年度末の指定する日までに教育委員会へ提出する。

(2) 教育委員会による改善支援

ア　様式１の活用

様式１は教育委員会学校・地域連携課が集約し、各協議会の運営状況について把握するための資料とする。

イ　評価結果等に基づく改善支援

教育委員会は、評価結果等に基づき、各協議会の取組の改善が図られるよう、必要な助言又は指導を行う。

附　則

この実施要項は、令和２年９月１日から施行する。

この実施要項は、令和５年４月１日から施行する。

この実施要綱は、令和７年１０月１日から施行する。

＜振り返りのポイント＞

（様式２）

令和８年度　学校運営協議会自己評価表

委員名（　　）

＜本年度の目標＞

・地域にある様々な施設と連携しながら、保護者や地域の方にボランティアへの参加を呼び掛けけ、地域と協働しながら学校を支えていく体制を整えていく。
・学校運営協議会を保護者に理解してもらうために、まず子供たちに知ってもらうことが大切だと考える。地域の中でも委員が積極的に子供に関わり、「学校運営協議会の人」を身近に感じてもらえるよう努力していきたい。

＜評価項目１＞　学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒　ア　よくできた　　イ　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった

（理由）

※　参考資料【熟議チェックシート】の評価項目１をもとに、振り返る。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
※　学校運営の基本方針（自校の学校教育目標や「育てたい力」等）について、協議した内容を簡潔に評価する。

＜評価項目２＞　承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒　ア　よくできた　　イ　できた　　ウ　あまりできなかった　　エ　できなかった

（理由）

※　参考資料【熟議チェックシート】の評価項目２をもとに、振り返る。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。
※　成果・課題などを簡潔に記載する。方法論だけではなく、「育てたい力」や「目指す子供の姿」とのつながりをポイントにする。

＜評価項目３＞　協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒　ア　充分に行った　　イ　行った　　ウ　あまり行わなかった　　エ　行わなかった

（理由）

※　協議会での協議結果（会議録への記載内容等）について、どんな方法による情報発信を行ったか、それによってどのような効果があったのか等を振り返って記載する。
※　委員個人の評価ではなく、協議会としての視点で評価する。

＜評価項目４＞　今年度の評価を踏まえた来年度の目標

※　委員個人の目標ではなく、協議会の目標を記載する。
※　学校運営協議会は、会議体であるため、会議体として相応しい目標を設定する。委員が、個人としてボランティア活動に参加することは想定されるが、学校運営協議会がボランティア活動の主体となることは想定していない。
★　自己評価の結果については、学校ホームページで公表する。

【参考資料】

【　熟議チェックシート　】

氏名（　　）

	できている	もう少し	
評価項目1			校長の説明を聞いて、分からない用語や疑問に感じたことを遠慮なく質問し、それに対して理解・納得できる回答が得られた。
			基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞置くだけでなく、よりよい学校運営のために委員が建設的な意見を発言できた。
			委員が、学校教育目標や学校運営の基本方針についての内容を理解し、共有した。
			学校評価などの評価結果を生かした改善について確認した。
			学校運営について、委員が率直に意見を述べることができた。
評価項目2			学校の教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して、協議会で協議を重ねた。
			熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になった。
			これまで行われてきた学校支援活動についても、教育目標とのつながりや学校、家庭、地域の役割分担を考え、見直すことができた。
			協議会で決定し、実施した学校支援活動について、振り返りや反省を行った。

令和８年１０月１７日

浜松市立麁玉小学校　学校運営協議会委員　各位

浜松市立麁玉小学校　学校運営協議会
会長　太田　富次郎

第４回麁玉小学校　学校運営協議会の開催について

仲秋の候、皆様におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、麁玉小学校の教育活動につきまして御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、令和８年度第４回麁玉小学校学校運営協議会を、下記の通り開催いたします。

御多用中とは思いますが、御出席くださいますようお願い申し上げます。

記

１　日　時　　令和９年２月１６日（火）　１３時３０分～１５時３０分

２　場　所　　麁玉小学校北校舎　２階　会議室

３　内　容
（１）始めの言葉
（２）授業参観
（３）会長挨拶・校長挨拶
（４）第３回会議録の確認
（５）協議
①議長選出
②熟議　・学校関係者評価の分析の報告
・令和９年度グランドデザイン・教育課程の説明と改善案の検討
・令和９年度「麁玉小学校いじめ防止基本方針」の説明と改善案の検討
（６）令和８年度学校運営協議会の自己評価と令和９年度の改善案の検討
（７）その他・連絡事項
令和９年度の学校運営協議会について

４　学校運営協議会自己評価表について

５　その他
お手数をお掛けしますが、欠席される場合は担当まで御連絡いただきますようお願いいたします。

担当（連絡先）浜松市立麁玉小学校
ＣＳディレクター　村瀬　美恵子
ＴＥＬ　589-8313　ＦＡＸ　589-8314